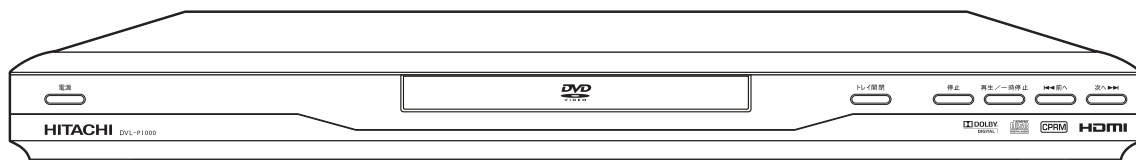
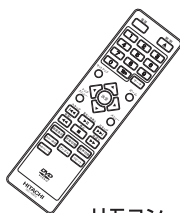
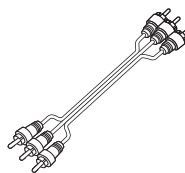
HITACHI
Inspire the Next

DVDプレーヤー
取扱説明書

形　名
DVL-P1000

付属品が同梱されているかお確かめください。

リモコン(DVL-RM10)　映像・音声コード(約100cm)　単4形乾電池(2個)(動作確認用)

このたびは、日立DVDプレーヤーをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

保証書について

・保証書に販売店名と購入日(購入日を証明する納品書や領収書)の記入もれや、納品書または領収書がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、大切に保管してください。

もくじ

もくじ

必ず守ってください

安全にお使いいただくために

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

絵表示について

■この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

絵表示の例

△記号は注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

絵表示の意味

 ・注意してください。

 ・破裂に注意してください。

 ・絶対に行わないでください。

 ・絶対に触れないでください。

 ・絶対に濡らさないでください。

 ・必ず指示にしたがい、行ってください。

 ・必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 ・高温に注意してください。

 ・絶対に分解/修理はしないでください。

 ・絶対に水場では使用しないでください。

 ・絶対に濡れた手で触れないでください。

 ・指をはさまないよう注意してください。

 ・指のケガに注意してください。

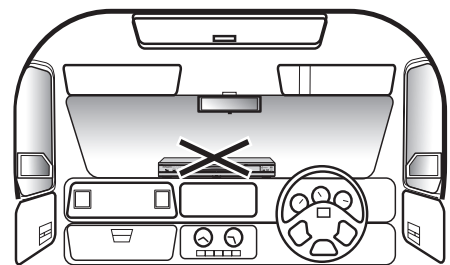
 ・手をはさまれないよう注意してください。

おことわり

・製品本体やリモコンなどのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。

警告　お車の中ではご使用にならないでください

本機は車載用ではありませんので、車の中では使用しないでください。また、自動車内に放置しないでください。

車載で使用した場合、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、**発火、発煙事故**のおそれがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、**本機の故障の原因になります。**
市販されている電源コンバーターなどや、お車についているACコンセントを使って本機を使用しないでください。

必ず守ってください

警　告

本機や電源コードが異常なとき（煙がでている、異常に熱い、変なにおいがする）は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

使用禁止
プラグを抜く
■ そのまま使うと火災･感電の原因になります。
お客様による修理は危険ですからお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

本機の開口部（通風孔/ディスクトレイなど）から内部に異物をいれない

禁止
■ 金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりすると火災･感電の原因になります。

■ **特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。**

本機の上に水などの入った容器を置かない（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）

禁止
■ こぼれて本機の内部に入った場合、火災･感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込み、抜き差しが弱くなったものは使用しない

禁止
■ 不完全な差し込みは接触不良となり発熱･火災･感電の原因になります。

■ 時々点検をしてください。

電源プラグのほこりなどはとる

ほこりをとる
■ 絶縁不良となり火災･感電の原因となります。
■ ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。

雷が鳴りだしたら電源プラグにふれない

接触禁止
■ 落雷すると誘導電雷により感電することがあります。

本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

使用禁止
水濡れ禁止
プラグを抜く
■ **そのまま使うと火災･感電の原因になります。
お買い求めの販売店にご連絡ください。**
■ **特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。**

本機を水でぬらさない
水滴のかかる場所に置かない

水濡れ禁止
水場での使用禁止
■ 海岸･水場や雨天･降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
■ 風呂場では使用しないでください。
■ 内部に水が入ると火災･感電･故障につながります。

本機を指定（表示）された電源電圧（交流100V）以外で使用しない

交流100V
■ 指定（表示）以外で使用すると火災･感電･故障の原因になります。
■ 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。

電源コードを正しく使用する
・束ねない　・延長　・タコ足配線しない
・固定しない

禁止
■ 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損･発火の原因になります。
■ タコ足配線すると発熱し火災･故障の原因になります。

電源コードを傷つけない
・破損させない　・加熱しない　・引っぱらない
・加工しない　・切断しない　・ねじらない
・曲げない　・重いものをのせない

禁止
■ そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

必ず守ってください

警　告

本機が破損した場合電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

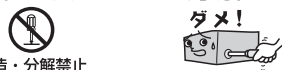
電源プラグやコードが傷んでいる場合（刃の曲がり、プラグカバーの傷み、芯線の露出、断線など）は電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買い求めの販売店にご連絡ください。

電源プラグやコードは乳幼児に触れさせない

■ 電源プラグやコードは小さなお子様の手の届くところに放置しないようご注意ください。

■ 感電の原因となることがあります。

本機を改造または分解しない

■ 裏ぶた、キャビネット、カバーははずさないでください。感電の原因になります。

■ 内部の点検・調整・修理は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

電源コードを動かすと電源が入ったり切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない

■ コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因になります。

電源プラグやコードを温度や湿度の高い場所（こたつの中やサウナなど）で使用しない

■ 感電や火災の原因になります。

本機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

■ 落ちたり倒れたりしてけがの原因となるため注意してください。

本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない

■ 故障の原因となることがあります。

DVDプレーヤーのピックアップからでるレーザー光線を直接見たり体に浴びない

■ 失明や火傷をするおそれがあります。

本機は国際規格IEC 825 に準ずるクラス1レーザー製品です。

注　意

電源コードを熱器具に近付けない

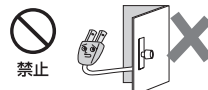
■ コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを引っ張らない

■ 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く

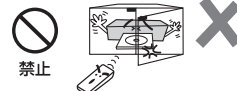
■ 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを引き回さない

■ 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり水や液体をかけない

■ 水は電気を通しますので感電の恐れがあります。

■ 必ずかわいた手で持ってください。

ガラスドアつきラックに入れたときは、ガラスドアを閉めたままリモコンの[開/閉]ボタンを押さない

■ 故障の原因になることがあります。

必ず守ってください

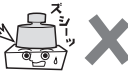
注　　意

電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない

■ 発煙や発火の原因となります。

次のような場合、電源プラグをコンセントから抜いておく

• 長時間外出するとき
• 旅行をするとき

■ 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機を移動させる場合、電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く

■ そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。

■ ディスクは取り出しておいてください。

指や手をはさまれないように注意

■ 小さなお子様がディスクトレイに手を入れないようご注意ください。

■ けがの原因となることがあります。

本機の上に重いものを置かない、乗らない

■ バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

■ 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

乾電池の取り扱いに注意

•ショートさせない・分解・加熱をしない
•火の中に投入しない

破裂注意

■ 破裂したりする危険があります。

指定されていない電池は使用しない

•新しいものと古いものを混ぜて使わない
•種類の異なるものを混ぜて使わない

禁止

■ 指定以外のものを使用すると破裂・液もれにより火災・けがの原因となることがあります。

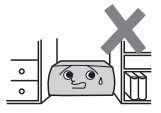
電源を入れる前には音量を最小にすること

■ 電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

乾電池は正しく挿入する

•プラス(+)とマイナス(−)の向きを正しく入れる

■ 誤って挿入すると破裂・液もれによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

本機を次のような場所に置かない

•湿気やほこりの多い場所 •油煙や湯気が当たる場所
•熱器具の近く　•テレビの上
•直射日光の当たる場所
•押し入れや本棚など風通しの悪い場所
•閉めきった自動車内など高温になるところ
•アンプなど熱を発生するオーディオ機器の近く

■ 発熱による変形や火災・感電・故障の原因になります。

1年に一度くらいは本機内部の掃除を依頼する

■ 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。

■ 内部の掃除やその費用については、お買い求めの販売店にご相談ください。

本機の通風孔をふさがない

•風通しの悪い狭い場所に置かない
•じゅうたんや布団の上に置かない
•テーブルクロスなどをかけない

■ 内部に熱がこもり火災の原因になります。

海水や塩害に注意

■ 海辺にお住まいのかたは窓からの海水や塩害に注意してください。

ディスク再生中は本機を絶対に動かさない

■ 再生中はディスクが高速回転していますので、本機を動かすと、中のディスクを傷つけたり、破損するおそれがあります。

禁止

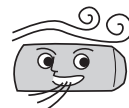
テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎないこと

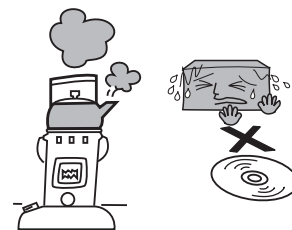
■ 音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

お使いになる前に

結露（つゆつき）について

■ **結露が発生した場合はディスクを本機に挿入しないでください。（本機を傷めてしまいます。）**
結露が発生しているときに、ディスクを本機に挿入された場合、ディスクの信号が読み取れず、本機が正常に動作しないことがあります。

■ **本機はよく乾燥した状態でお使いください。**
結露が発生した場合、乾燥するまで放置した上で本機をご使用ください。

■ **結露とは…**
暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを「**結露**」（またはつゆつき）と呼びます。本機に結露が発生した場合は、本機内部のピックアップレンズやディスクに水滴がつきます。乾燥させないかぎり、本機はご使用になれません。

■ **次のようなときに結露になりやすいので、ご注意ください。**
- **本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき**
- **急に部屋を暖房したとき**
- **エアコンなどの冷風が直接当たるところ**
- **湿気の多いところ**

ディスクの取り扱い

■ 再生面（虹色に光っている面）に触れないようにディスクの端を持ってください。

■ 紙やシール、ラベルなどを貼ったり、傷をつけたりしないでください。またシールやラベルがはがれたり、のりがはみだしているディスクは使わないでください。

■ 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。（車のダッシュボードやリヤウインドウなどに放置しないでください。）

■ 使用後は、**所定のケースに入れて、保管してください。**ケースにいれずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。

■ 指紋やホコリによりディスクが汚れた場合や、キズがついた場合には再生することができなくなりますので汚れやキズをつけないでください。

■ お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外のほうへ軽くふきます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふき、乾いた布で水気をふき取ってください。

■ ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

■ 次のロゴマークがついたディスクをご使用ください。詳しくは[➡11ページ]をご覧ください。

レンズクリーナーについて

■ 市販のレンズクリーナーは使用しないでください。故障するおそれがあります。

お使いになる前に

本機の置き場所や取り扱いについて

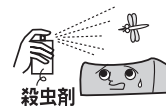
■ 本機の上に、テレビなど重いものを置かないでください。テレビの電磁波の影響を受け画面にノイズがでたりキャビネットが変形するなど故障の原因となります。
■ 不安定な場所や振動の多い場所、ほこりの多い場所には置かないでください。故障や事故の原因となります。
■ 使い終わったあとは電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。
■ 長期間ご使用にならないときは、ディスクを取り出し電源を切ってください。

取り扱いは…
■ 国外では使えません。
本機は日本国内用に設計されています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This DVD player is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

■ 本機を移動するときは、ディスクを取り出し、電源を切ってください。
■ 本機はタテ置きで使用しないでください。

お手入れについて

キャビネットは…
■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。
■ シンナーやベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
■ キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。

■ 市販のレンズクリーナーは故障の原因となることがありますので、使用しないでください。

リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地方自治体の規制にしたがって処分してください。

ご使用になる前に、必ずお読みください

本体またはリモコンの[電源]ボタンを押してから電源が入るまで少し時間がかかります。
表示部にHELLOが点灯するまで、そのまましばらくお待ちください。
次の場合は画像が乱れたり、再生が停止したり、再生が始まらないことがありますのでご注意ください。

1.ディスクが指紋などで汚れている。
ディスクを清掃してください。[➡ 8ページ]
2.ディスクにキズがついている。
3.本機で再生できないディスクが入っている。[➡ 11～12ページ]

本機の動作について

誤動作や故障などにより、本機が正しく動作しないことがあります。これらによる付随的損害の補償については、ご容赦ください。

■ 本機は一般家庭用として作られていますので、業務用として使用しないでください。

お使いになる前に

はじめに

著作権について

- **ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。**
- **ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画面は乱れます。**
- 本機は、著作権保護技術を採用しており、米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
  U.S.Patent Nos.4,631,603;4,819,098;4,907,093;5,315,448;and6,516,132
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DVDはDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、及びHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

この取扱説明書の見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記の用語が記されています。それぞれの意味は次の通りです。

DVD DVDビデオディスクで楽しめる機能を表します。（本文ではDVDと表現します。）
DVD-R/DVD-RWディスクにビデオフォーマットで録画したディスクも含みます。

DVD-R/-RW VRフォーマット VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-R/DVD-RWディスクで楽しめる機能を表します。

CD 音楽用CDで楽しめる機能を表します。
CD-R/CD-RWディスクに音楽用CDフォーマットで録音したディスクも含みます。

ちょっと一言！ 操作上、気をつけていただきたい情報を表します。

用語の説明や操作の補足説明を表します。

この取扱説明書では操作の説明をリモコン主体で行っています。

お使いになる前に

再生できるディスク

本機では、下表のディスクを再生できます。

【DVDビデオディスク】

本機は、NTSC方式に適合しています。PALやSECAMなどのほかの方式で、記録されたディスクは再生できません。また、ディスクには下記の様なリージョン番号が表示されます。

ディスクの種類	ディスクの内容	ディスク盤の大きさ
DVDビデオディスク リージョン番号 2 ALL 上記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク	音声＋映像(動画)	12cm/8cm盤
DVD-R/DVD-RW **(ビデオフォーマット/VRフォーマット)*** 記録状態によっては再生できないディスクもあります	音声＋映像(動画)	12cm/8cm盤
音楽用CD**	音声	12cm/8cm盤
CD-R/CD-RW CD-DAフォーマット	音声	12cm/8cm盤

＊ファイナライズしていないディスクは再生できません。

＊＊CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては、再生の状態を保証できません。
特殊ディスク再生時のみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。
CD規格外ディスクを再生した場合、色々な不具合が発生することがあります。

・ディスクレーベル面に上記ロゴマークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また再生できた場合であっても、画質･音質の保証は致しかねます。

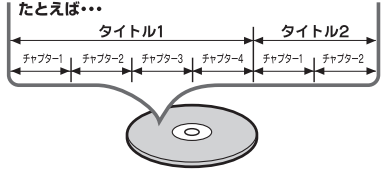
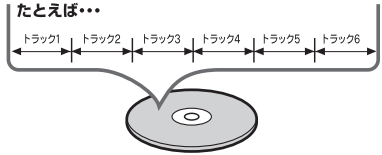
DVD-R/DVD-RWディスクの再生について

・本機では、CPRM対応のDVD-R/DVD-RW（VRフォーマット）ディスクを再生することができます。
・本機では、ファイナライズ済みのDVD-R/DVD-RWディスクを再生することができます。ただし、使用するディスクの特性、記録状態、汚れ、傷、またはピックアップの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。
・本機では、DVD-R/DVD-RW（VRフォーマット）ディスクに含まれるプレイリスト再生には対応していません。
・本機では、DVD-R/DVD-RW（VRフォーマット）ディスクは、DVDビデオディスクやDVD-R/DVD-RW（ビデオフォーマット）ディスクに比べ、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
・DVD-R/DVD-RWディスクは、本機で再生する前に、記録したレコーダーでファイナライズを行ってください。
・ビデオフォーマット、VRフォーマット、ファイナライズ等、DVD-R/DVD-RWについて詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
・片面2層のDVD-Rディスクはディスクによっては再生できない事があります。

RW COMPATIBLE この表示は、DVDレコーダーでVRモード（ビデオレコーディングフォーマット）記録されたDVD-RWディスクが再生できる機能を示しています。（CPRM対応）

ちょっと一言！

下記のディスクは再生できません。

● リージョン番号「2」「ALL」以外のDVD
● DVD-ROM ● CD-ROM ● Video CD
● DVD-RAM ● DVD-Audio ● PD ● BD（ブルーレイディスク） ● HD DVD
● CD-R/CD-RW（音楽用CD以外のもの）
● CD-I ● CDG（CDグラフィクス） ● CVD
● SACD（ハイブリットディスクで通常のオーディオCD層に記録された音は再生することができます。スーパーオーディオCD層に記録された音は再生することができません。）
● フォトCD ● WMA、JPEG、MP3が記録されたCDなど
● 特殊な形状のディスク（ハート形など）（故障の原因となります。）
■ 8cmアダプター（音楽用CD用）は使わないでください。故障の原因となります。
■ 記録領域が少ないディスク（直径55mm以下）は、再生できない場合があります。

お使いになる前に

はじめに

ディスク表示について

DVDビデオソフトに記載されている表示をご確認のうえご使用ください。

表示	機能説明
・リージョン番号（再生可能地域番号）を表しています。 [2] [ALL]	・本機は､｢リージョン番号｣が｢ALL｣または｢2｣の含まれるDVDビデオディスクの再生が可能です。
・DVDビデオディスクに記録されている画面サイズを表しています。	・本機を接続するテレビの種類(ワイドテレビや4:3のテレビ)に応じた画面サイズが選べます。
4:3	・4:3の画面サイズで記録されています。
16:9 LB	・ワイドテレビではワイド画像を､4:3のテレビでは上下に黒いバーつき(レターボックス)サイズ画像を楽しめるように記録されています。
16:9 PS	・ワイドテレビではワイド画像を､4:3のテレビでは左右をカットした4:3の画像を楽しめるように記録されています。
・字幕の種類を表しています。 例： 2　1：日本語 字幕 2：英語 字幕	・リモコンの[字幕切換]ボタンまたは､ディスクメニュー画面でお好みの字幕が選べます。 ・ディスクによっては[字幕切換]ボタンで字幕が切り換わらない場合があります。
・DVDビデオディスクに記録されているアングル数（前方からの撮影画像や後方からの撮影画像）を表しています。 例： 2	・リモコンの[アングル]ボタンまたは､ディスクメニュー画面でお好みのアングルが選べます。
・音声トラック数や音声記録方式を表しています。 例： 5 音声1：オリジナル<英語>（5.1chサラウンド） 音声2：日本語（ドルビーサラウンド） 音声3：ドルビーデジタル（ステレオ） 音声4：リニアPCM音声	・DVDビデオディスクに記録されている音声をリモコンの[音声切換]ボタンで切り換えることができます。 ・ディスクによっては[音声切換]ボタンで音声が切り換わらない場合があります。 ・本機はDTSサウンドには対応しておりません。

ディスクの構成

DVD　DVD VIDEO

■ DVDビデオディスクは､｢タイトル｣と｢チャプター｣に区切り構成されています。

●タイトルとは､例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとをさします。

●チャプターとは､｢タイトル｣をさらに細かく分けたものです。

たとえば･･･
タイトル1　タイトル2
チャプター1　チャプター2　チャプター3　チャプター4　チャプター1　チャプター2

音楽用CD　COMPACT disc DIGITAL AUDIO

■ 音楽用CDは､｢トラック｣に区切り構成されています。

●トラックとは､例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。

お使いになる前に

おもな特長

ドルビーデジタルサラウンド[➡ 21ページ]
- ドルビーラボラトリーズが開発した音声圧縮方式で5.1チャンネルサラウンドによる音の移動感や立体感を楽しむことができます。

早送り、早戻し、一時停止、スロー再生 [➡ 24、26～27ページ]
- 早送り再生、早戻し再生、一時停止、スロー再生、などの再生ができます。

DVDメニュー言語切り換え[➡ 46～47ページ]
- DVDに含まれているメニューが、多言語対応の場合、メニューに表示する言語が選択できます。

自動電源オフ機能
- 一時停止、停止状態で30分間入力がないと、電源が自動的に切れます。

希望する言語で字幕を表示[➡ 36、46～47ページ]
- 希望する言語が、ディスクに記録されている場合には、字幕の表示にその言語を選ぶことができます。

カメラアングルの選択[➡ 37ページ]
- 異なるアングルからの映像が、ディスクに記録されている場合には、希望するカメラアングルを選ぶことができます。

音声言語とサウンドモードの選択 [➡ 35、44～47ページ]
- 複数の音声チャンネルの言語とサウンドモードが、ディスクに記録されている場合には、好きな言語、またはサウンドモードを選ぶことができます。

視聴制限設定[➡ 48～49ページ]
- パレンタルレベルを設定して、子供の視聴が好ましくないディスクの再生を、制限することができます。

ディスクの自動判別
- DVD、音楽用CDを自動的に判別して再生します。

音楽CD再生[➡ 22～23ページ]
- 音楽CDを再生することができます。

画面表示[➡ 39ページ]
- 各時点で行っている操作情報を、テレビ画面上に表示します。また、リモコンを利用してテレビ画面上で、その時点に有効になっている機能を確認することができます。

サーチ[➡ 30～34ページ]
- チャプターサーチ:
  指定したチャプターをサーチすることができます。
- タイトルサーチ:
  指定したタイトルをサーチすることができます。
- トラックサーチ:
  指定したトラックをサーチすることができます。
- タイムサーチ:
  指定した時間をサーチすることができます。

リピート[➡ 28～29ページ]
- チャプター、タイトル、トラック:
  再生中のディスクのチャプター、タイトル、トラックを繰り返して再生することができます。
- オール(音楽用CD):
  再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。
- A-B:
  指定したAからBまでの部分を繰り返して再生することができます。

ズーム[➡ 38ページ]
- 2倍、3倍、4倍に拡大、1/2、1/3、1/4に縮小した画面を表示させることができます。

つづき再生(リジューム機能)[➡ 25ページ]
- 再生中に一度ストップボタンを押しても、次に再生ボタンを押した時に続きから再生します。

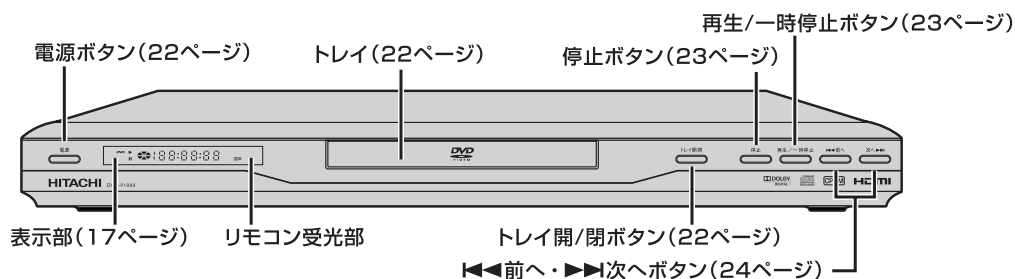
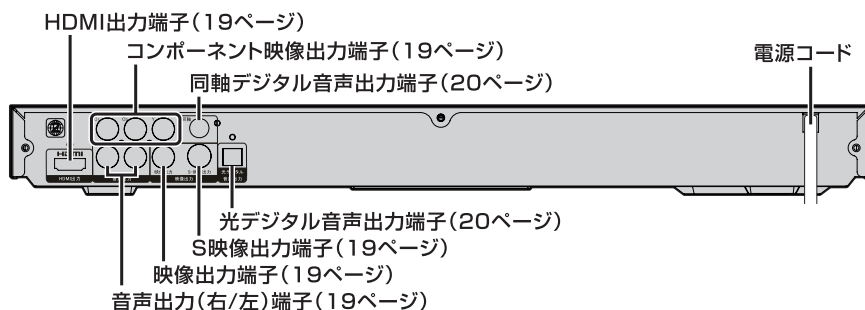
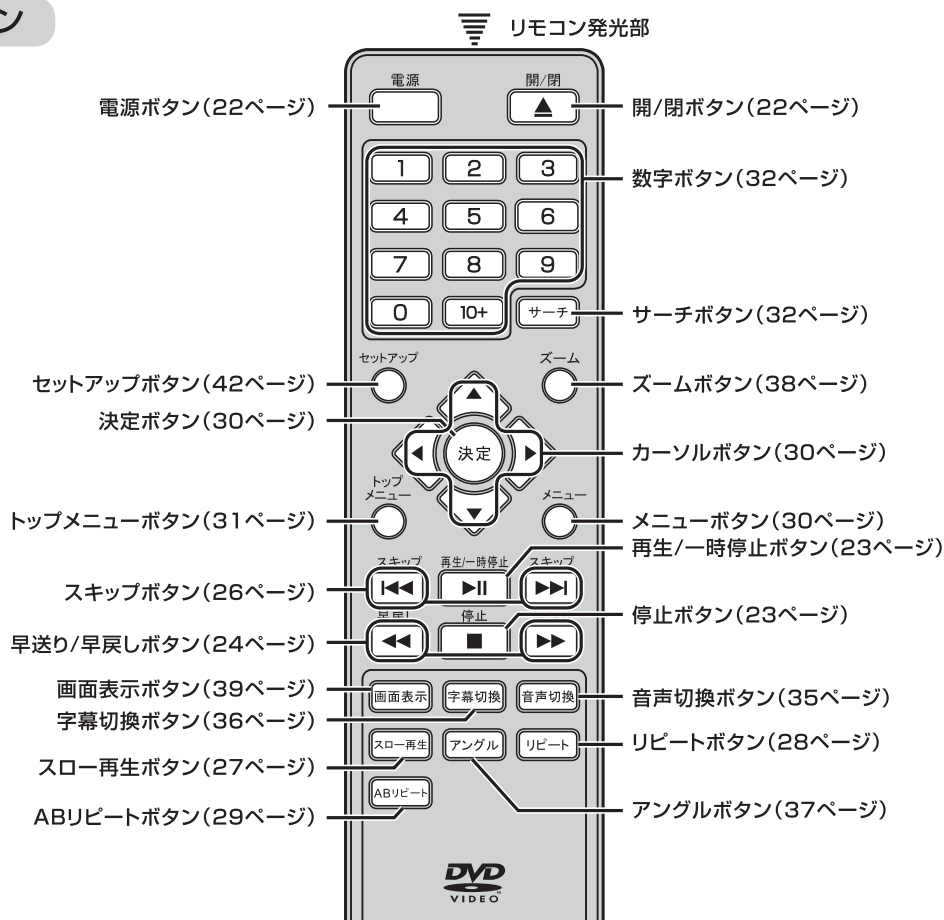
DRC [➡ 44～45ページ]
- 音量範囲をコントロールします。

ラストメモリー [➡ 48～49ページ]
- DVDの再生を途中で停止してディスクを取り出しても再生の開始ポイントをメモリーする機能です。最大5枚までメモリーします。
  6枚目以降は1番古いメモリーを消してトータル5枚メモリーします。

お使いになる前に

各部のなまえ

()内の番号は、本文で説明しているおもなページです。
操作ボタンの機能については、15ページをご覧ください。

前　面

後　面

リモコン

お使いになる前に

各部の名称と機能説明

■ 本体前部

	各部の名称	機能説明
さ	再生/一時停止ボタン	ディスクの再生、一時停止
た	停止ボタン	ディスクの再生を止める
	電源ボタン	電源を「入」「切」する
	トレイ	ディスクをセット
	トレイ開/閉ボタン	トレイの出し入れ
は	表示部	17ページをご覧ください
ま	⏮前へ・⏭次へボタン	チャプター(トラック)の頭出し

■ 本体後部

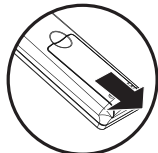
	各部の名称	機能説明
英字	HDMI出力端子	HDMI端子つきテレビとの接続
	S映像出力端子	S端子つきテレビとの接続
あ	映像出力端子	映像入力端子つきテレビとの接続
	音声出力(右/左)端子	アナログオーディオ機器やテレビとの接続
か	コンポーネント映像出力端子	Y,CR/PR,CB/PB端子つきテレビとの接続
た	電源プラグ	AC100Vのコンセントに差し込む
	同軸デジタル音声出力端子	同軸デジタル端子つきアンプとの接続
は	光デジタル音声出力端子	光デジタル端子つきアンプとの接続

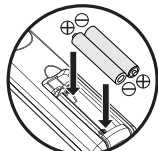
■ リモコン操作ボタン

	各部の名称	機能説明
英字	A-Bリピートボタン	A点からB点を繰り返し再生
あ	アングルボタン	アングルの切り換え
	音声切換ボタン	音声の言語を切り換える
か	カーソルボタン(4方向)	セットアップ画面での、カーソルの移動や項目の切り換え
	開/閉ボタン	トレイの出し入れ
	画面表示ボタン	再生中の情報を画面に表示する
	決定ボタン	選択した項目を確定
さ	再生/一時停止ボタン	ディスクの再生、一時停止
	サーチボタン	タイムサーチやダイレクト選曲の決定ボタン
	字幕切換ボタン	字幕の言語を切り換える
	ズームボタン	再生画像の一部を拡大及び縮小
	数字ボタン	各設定、選択などに使う
	スキップボタン	チャプター(トラック)の頭出し
	スロー再生ボタン	DVDディスクのスロー再生をする
	セットアップボタン	設定を変更するときに使う
た	停止ボタン	ディスクの再生を止める
	電源ボタン	電源を「入」「切」する
	トップメニューボタン	DVDディスクの最上層のメニュー画面を表示する
は	早送り/早戻しボタン	早送り/早戻し再生
ま	メニューボタン	DVDのディスクメニュー画面を表示する
ら	リピートボタン	タイトル/チャプター、トラックの繰り返し再生

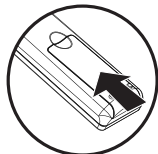
お使いになる前に

リモコン乾電池のいれかた

1

リモコン裏側のフタをはずす

2

乾電池（単4形）を入れる

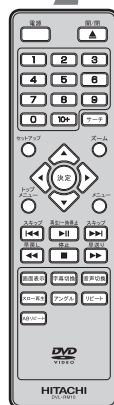
●（＋）（－）を確かめる
●（－）側を先に入れる

3

フタをつける

「アルカリ乾電池ご使用の注意」
アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。
アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。

リモコンの操作方法

リモコン受光部にむけて
操作してください。

受信許容範囲
距離
　本体正面より7メートル以内
角度
　本体正面より
　左右30度以内:5m以内
　上30度以内　:5m以内
　下30度以内　:5m以内

ちょっと一言！

- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい単4形乾電池に交換してください。（※付属の単4形乾電池は動作確認用です。）
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 本機を直射日光の当たる場所で操作すると誤動作する場合があります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。
- リモコンは、本機付属の（DVL-RM10）を使用してください。
- 蛍光灯などの近くで使用すると、リモコンの操作が受けづらくなることがあります。
  このようなときは、本機を蛍光灯などから離した場所に設置してください。

お使いになる前に

本機の機能操作について

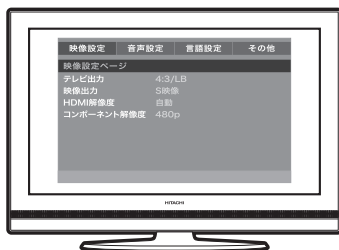
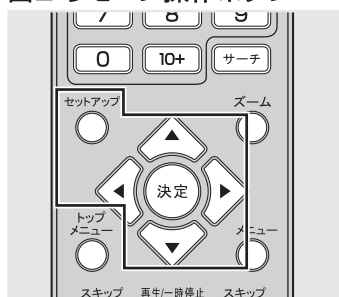
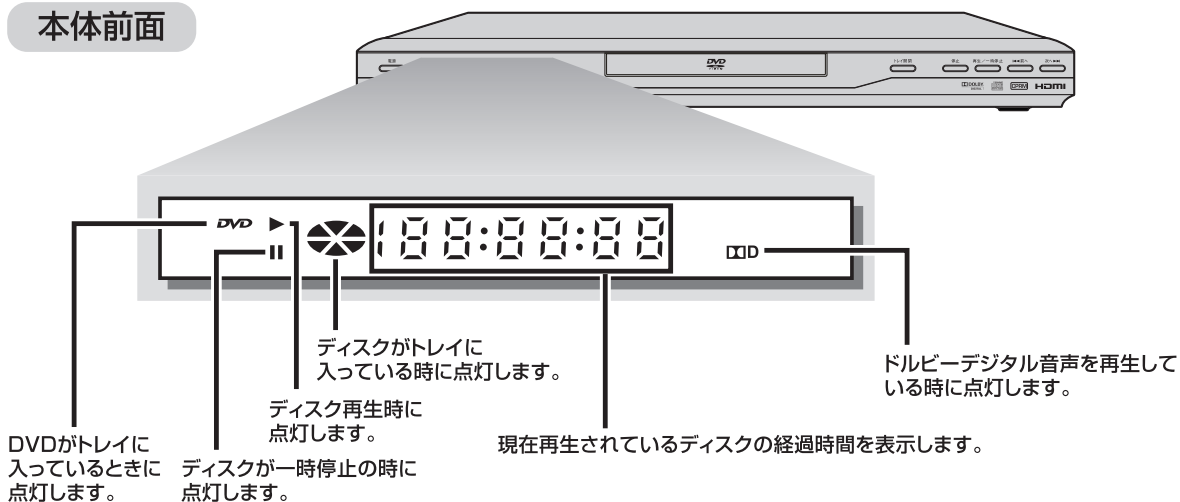
図1 メニュー画面(テレビ画面)

本機はセットアップメニュー(図1)にしたがい、各種機能を設定する操作になっています。また、この操作はリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※22ページ以降の説明において、リモコン主体とした説明となります。

図2 リモコン操作ボタン

各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	リモコン
・セットアップメニューを呼び出す	セットアップ	セットアップ
・選択項目の移動	カーソル	
・選択項目の確定	決定	決定

表示部について

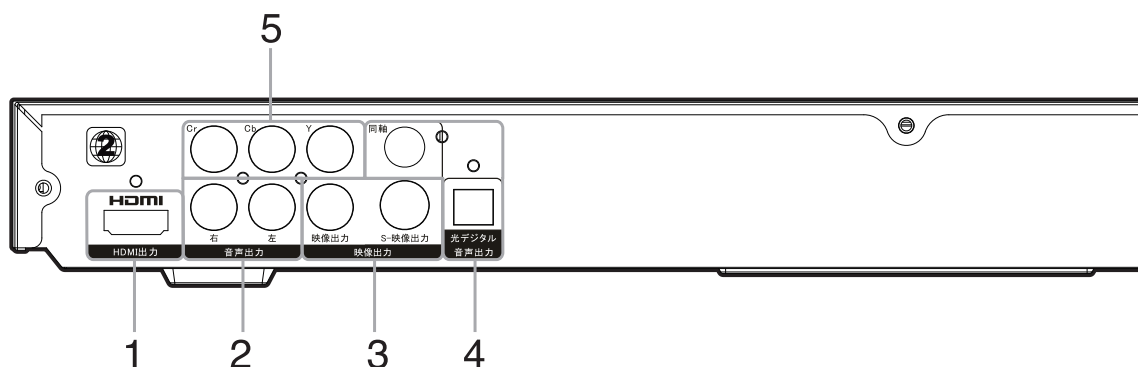
本体前面

表示部の表示例

正しい設置・設定をしてください

本体後面の端子について

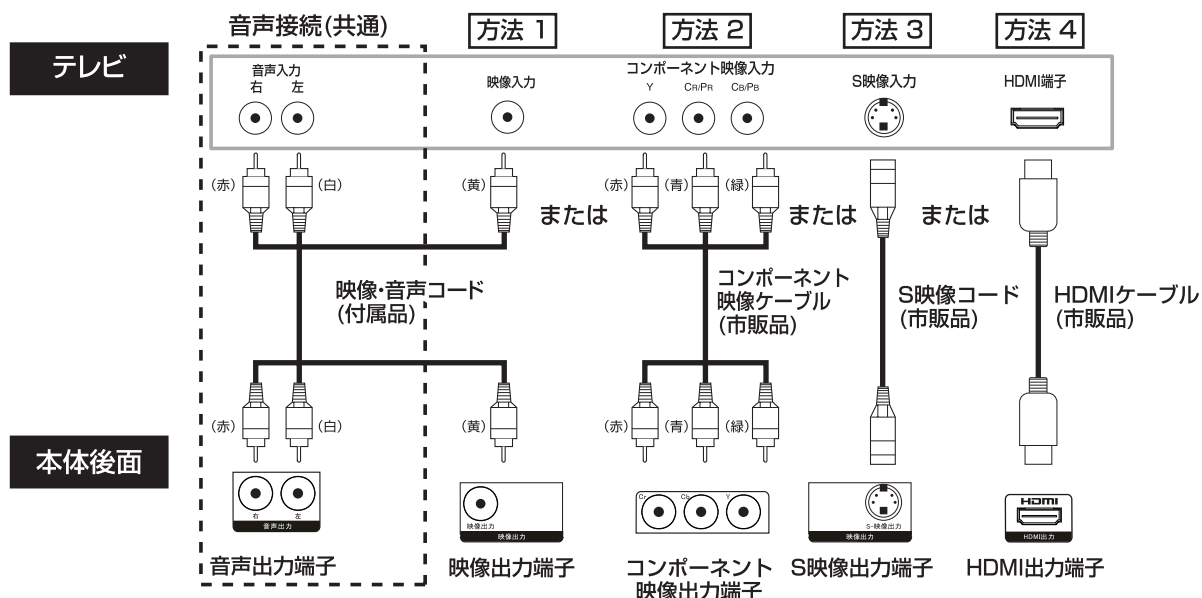
接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- テレビとの接続のしかたについては、テレビの取扱説明書もよくお読みください。

1. **HDMI端子**
   市販のHDMIケーブルを使って、HDMI端子付きのテレビと接続します。
2. **音声出力端子**
   付属の音声コード（赤、白）を使って、テレビの外部入力端子（音声）と接続します。または、オーディオ機器などのアナログ音声入力端子と接続します。
3. **映像出力端子**
   付属の映像コード（黄色）またはS映像ケーブル（市販品）を使って、テレビの外部入力端子（映像）と接続します。
4. **デジタル音声出力端子**
   市販の光デジタルケーブルまたは75Ω同軸コードを使って、デジタル音声端子つきアンプと接続します。ドルビーデジタル対応のアンプまたはデコーダーをお使いになる場合もここに接続します。
5. **コンポーネント映像出力端子**
   市販のコンポーネント映像ケーブルを使って、コンポーネント映像入力端子（Y,CR/PR,CB/PB）のあるテレビと接続します。S映像ケーブルよりも鮮明な映像を楽しむことができます。

正しい設置・設定をしてください

テレビとの接続

テレビ

本体後面

- **方法 1:** 本機+外部入力端子つきのテレビ
- **方法 2:** 本機+コンポーネント映像入力端子つきのテレビ
- **方法 3:** 本機+S映像入力端子つきのテレビ
- **方法 4:** 本機+HDMI端子つきのテレビ

HDMI端子とは？

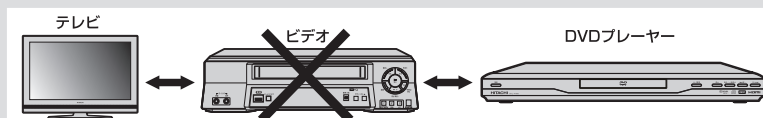
- HDMI入力端子を備えたテレビに接続することで、高品質の映像を楽しむことができます。
  ケーブル1本で、簡単に高精細デジタル映像信号と高音質デジタル音声信号の接続ができます。
- HDMI、HDMIロゴ、及びHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

コンポーネント映像出力とS映像出力について

- コンポーネント映像出力とS映像コードを両方接続していると、正常な映像が出力されません。
  コンポーネント映像またはS映像でご覧になる場合は、ご覧になるケーブルのみを接続してください。

ちょっと一言!

- ワイドテレビ(16:9)に接続した場合は、本機の設定を変更する必要があります。[➡ 42～43ページ]
- 本機はテレビに直接接続してください。ビデオやビデオ内蔵テレビを経由してテレビに接続したり、ビデオで録画したテープを再生するとコピープロテクションシステムにより、正常な再生画像にならない場合があります。

接続

正しい設置・設定をしてください

オーディオ機器との接続

接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「**切**」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

オーディオ機器

方法1

方法2　デジタル端子つきアンプ

接続

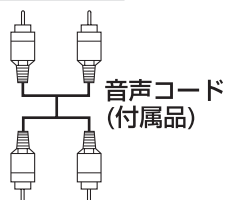
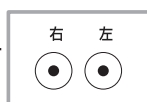
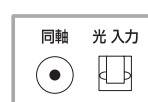
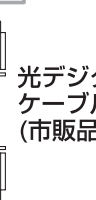
オーディオ機器

アナログ音声入力端子

デジタル音声入力端子

音声コード（付属品）

75Ω同軸コード（市販品）

または

光デジタルケーブル（市販品）

本体後面

音声出力端子

デジタル音声出力端子

- **方法1**: 本機 + アナログ音声入力端子つきのオーディオ機器と接続する場合
- **方法2**: 本機 + デジタル音声入力端子つきのアンプと接続する場合

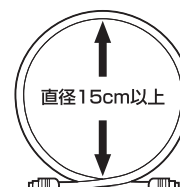
ちょっと一言!

- ドルビーデジタルのサラウンドデコード機能に対応していないアンプをご使用の場合は、「音声設定」の[デジタル音声出力]を[PCM]にセットしてください。正しくない設定でDVDディスクを再生すると、音がゆがみスピーカーが壊れることがあります。
  [➡ 44〜45ページ]
- ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、MDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。
- 本機はDTSサウンド機能には対応していません。

光デジタル音声出力端子について

- 光デジタル音声出力端子は、電気信号を光信号に変換してアンプへと送ります。このような光信号による通信は、外界の電気的影響を受けにくく、またほかの外部装置に悪影響を及ぼす恐れも少なくなります。

光デジタルケーブル（市販品）について

- 光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際には、直径が15cm以上になるように巻いてください。
  ケーブルを接続するときには、しっかり奥まで差し込んでください。
  長さは3m以下のものを使用してください。
  プラグにほこりがある場合には、柔らかい布でふいてから接続してください。

正しい設置・設定をしてください

ドルビーデジタル対応のアンプやデコーダーとの接続

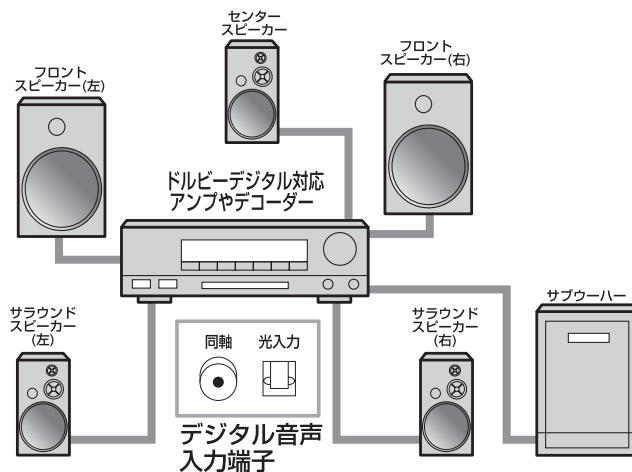
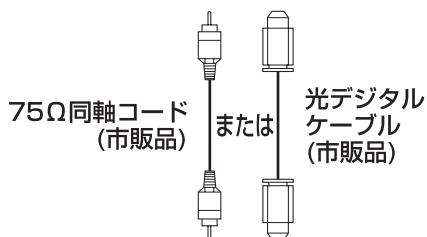
接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「**切**」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

ドルビーデジタルサラウンドのDVDディスクを再生するときには、ドルビーデジタル対応のアンプまたはデコーダーに本機を接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンド音声をお楽しみいただけます。このオーディオ接続には、75Ω同軸コード（市販品）、または光デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

本体後面

デジタル音声出力端子

接続

ちょっと一言!
- ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続する場合には、「音声設定」の[デジタル音声出力]を[ビットストリーム]にしてください。[➡ 44～45ページ]
- ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続しない場合には、「音声設定」の[デジタル音声出力]を[PCM]にしてください。正しくない設定でDVDディスクを再生すると音がゆがみスピーカーが壊れることがあります。
[➡ 44～45ページ]

再生のしかた

DVD、音楽用CDの再生

DVD　DVD-R/-RW VRフォーマット

再生を始める

- テレビ、アンプ、その他本機に接続されている機器の電源をすべて入れます。（外部機器側の入力方式を本機に適合するように切り換えたうえで、音声のボリュームが適正かどうか確かめてください。）
- ディスク回転中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 電源プラグを抜くときは、ディスクを取り出し、[電源]ボタンで電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

1 [電源] を押して電源を入れる

HELLO

2 [開/閉 ▲] を押してディスクトレイを開ける

OPEN

3 再生するディスクをトレイにのせる

- ラベル面を上にして、ディスクがトレイのくぼみに正しくセットされているか確認してください。

4 [開/閉 ▲] を押してディスクトレイを閉める

CLOSE ➡ LOAd

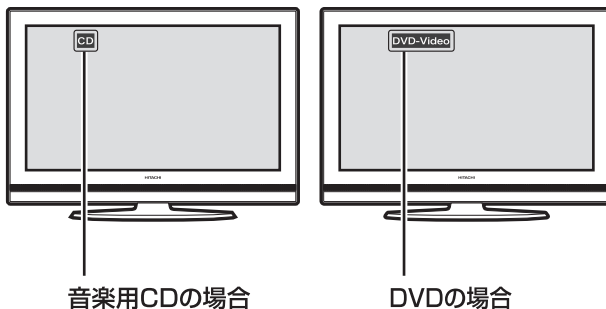
ちょっと一言！

- ディスクが裏表逆になっていると、ディスクに傷をつけたり、誤動作の原因となります。
- 2層ディスクの再生中に映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので、故障ではありません。ディスク付属の説明書も合わせてご覧ください。
- DVDディスクが入った状態で電源を入れると自動的に再生を始めるディスクがあります。
- VRモードで録画されたDVD-R/DVD-RWでは、編集（タイトルの消去、録画の繰り返し）の状態により、再生中に映像が止まることがあります。
- 本機では、DVD-R/DVD-RW（VRフォーマット）ディスクに含まれるプレイリスト再生には対応していません。
- 本機では、DVD-R/DVD-RW（VRフォーマット）ディスクは、DVDビデオディスクやDVD-R/DVD-RW（ビデオフォーマット）ディスクに比べ、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。

再生のしかた

5 再生/一時停止 [▶II] を押す

- ディスクの最初のチャプター、またはトラック（ファイル）から再生が始まります。
- メニュー画面が記録されているDVDを再生すると、画面表示されたメニューを使って、再生することができます。[➡ 30〜31ページ]の項をご覧ください。

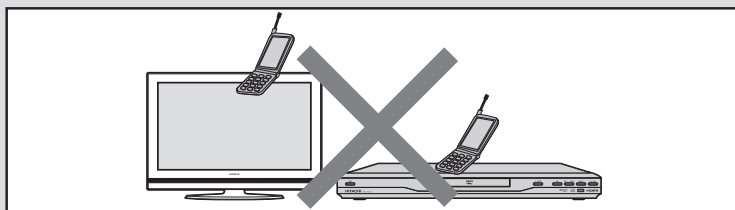
※[再生/一時停止]ボタンを押さなくても自動的に再生するディスクもあります。

6 再生をやめるとき、停止 [■] を押す

再生

画面に下記の表示がでた場合は、[➡ 53ページ] をご覧ください。

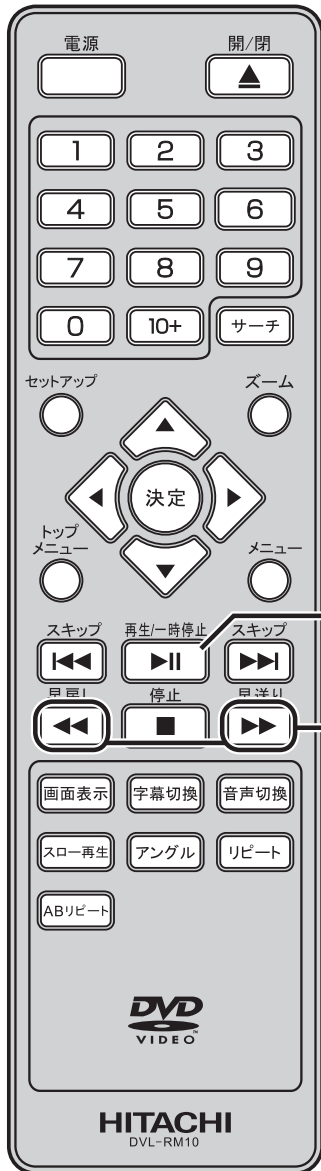
ディスクがありません	リージョンコードが間違っています	視聴制限が設定されています

ちょっと一言！

- 本機の動作中にテレビ画面の左上隅に「禁止マーク」が表示されることがあります。これは、禁止されている操作を本機かディスクに対して行われていることを警告するためのものです。
- 再生プログラムが備わっているDVDの場合は、最初のタイトルから再生が始まらない場合があります。
- ディスクを取り出すときは[開/閉]ボタンを押してください。また、本機の電源を切る前にディスクを取り出してください。
- 携帯電話をご使用になるときはテレビやDVDに近づけないでください。
音声に異音が入ったり、テレビにノイズがでたりする場合があります。
異音がでたり、テレビにノイズがでたりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

再生のしかた

早送り／早戻し（サーチ）をする

DVD　DVD-R/-RW VRフォーマット　CD

1 再生中に 早戻し［◀◀］ か 早送り［▶▶］ を押す

（DVDの音声はでません。）

ボタンを押すたびに再生速度が変わります。

- DVDの場合、ディスクによって早送り／早戻しの速度が異なる場合がありますが、目安は2×、4×、8×、16×、32×です。
- 音楽用CDの場合の早送り／早戻しの速度の目安は2×、4×、8×、16×、32×で、音も再生されます。

※ 再生速度の倍速は通常再生を1としたときの目安です。実際の速度ではありません。

DVDの場合

2 再生/一時停止［▶II］ を押すと通常の再生速度に戻る

再生

再生のしかた

つづきから再生する（リジューム機能）

DVD　DVD-R/-RW VRフォーマット　CD

電源　開/閉
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 10+ サーチ
セットアップ　ズーム
決定
トップメニュー　メニュー
スキップ　再生/一時停止　スキップ
早戻し　停止　早送り
画面表示　字幕切換　音声切換
スロー再生　アングル　リピート
ABリピート
HITACHI
DVL-RM10

1 再生中に [停止 ■] を押す

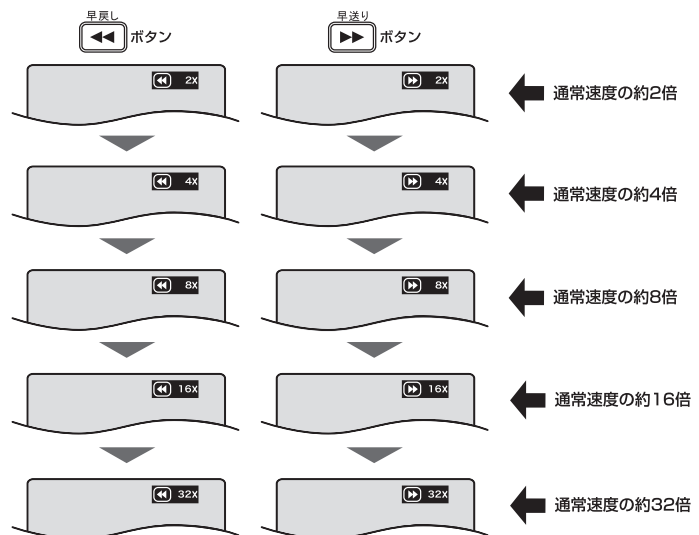
●再生が停止し、画面上部にメッセージが表示されます。

2 [再生/一時停止 ▶II] を押す

●停止した位置から、つづけて再生されます。

再生

ちょっと一言！

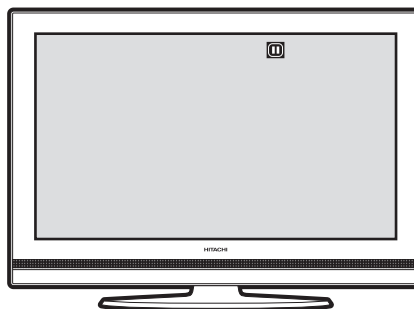
● [停止] ボタンを2回押すか、ディスクトレイを開くと、つづき情報（リジューム）はリセットされます。
● 電源を切ると、つづき再生（リジューム）の情報は消えます。

再生のしかた

一時停止（静止）

DVD　DVD-R/-RW VRフォーマット　CD

1 再生中に［再生/一時停止 ▶II］を押す

- 再生が一時停止し、音声は消音となります。
- DVDは静止画再生となります。
- 音楽用CDは、一時停止となります。

2 再生に戻すには［再生/一時停止 ▶II］を押す

チャプターやトラックを頭出しする（スキップ）

DVD　DVD-R/-RW VRフォーマット　CD

1 再生中に［スキップ I◀◀］か［スキップ ▶▶I］を押す

- DVDの場合は、同一タイトル内のチャプターの頭出しができます。
- 音楽用CDの場合は、トラックの頭出しができます。

［スキップ ▶▶I］ — 次のチャプターを頭出しします。

または

［スキップ I◀◀］ — 現在のチャプターを頭出しします。
続けて2度押すと前のチャプターに戻ります。

ちょっと一言！

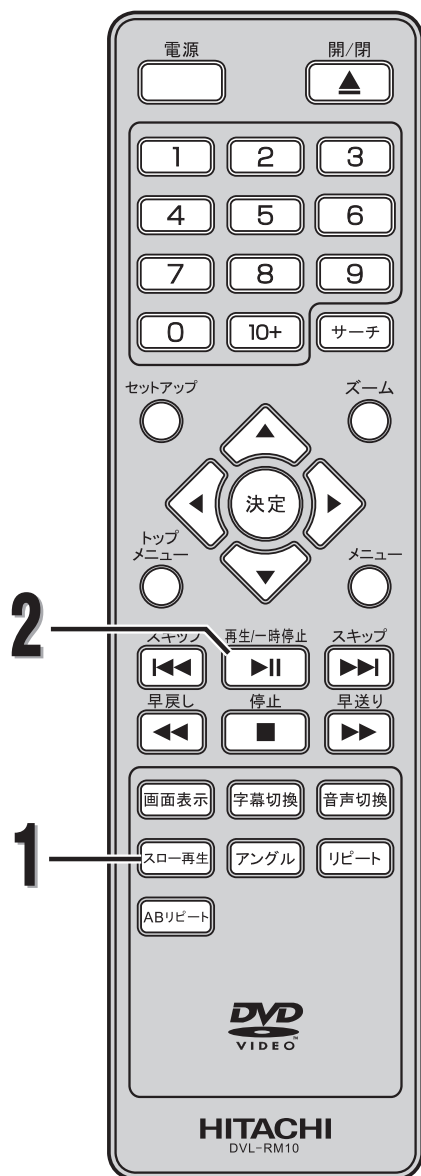
- タイトルをまたぐスキップはできない場合があります。

再生

再生のしかた

スロー再生

DVD　DVD-R/-RW VRフォーマット

1

スロー再生 を押す

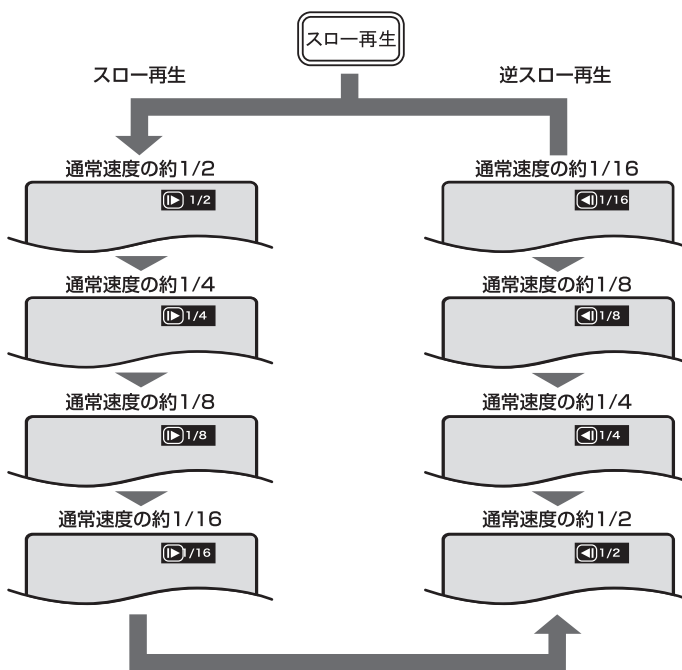
（音声はでません。）

- スローモーションモードで再生が行われます。

- スロー再生 を押すたびに再生速度が4段階に変わります。
- ディスクによって再生速度が異なる場合がありますが、目安は1/2、1/4、1/8、1/16です。

2

再生/一時停止 ▶II を押すと通常の再生速度に戻る

再生

ちょっと一言！

- 音楽用CDのスロー再生はできません。
- ディスクによっては、表示されている速度より遅くなる場合があります。

再生のしかた

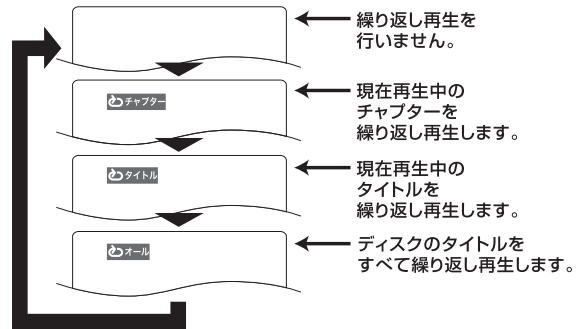
繰り返し再生（リピート再生）

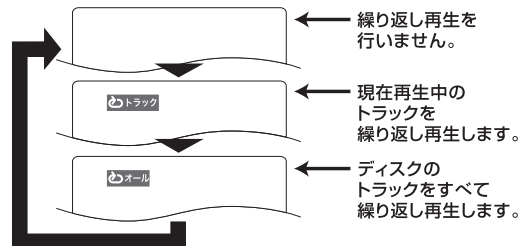
DVD CD

1 再生中に［リピート］を押す

再生

DVDの場合

- タイトル、チャプターまたはディスクのタイトル全てを、繰り返し再生することができます。
- ［リピート］を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

音楽用CDの場合

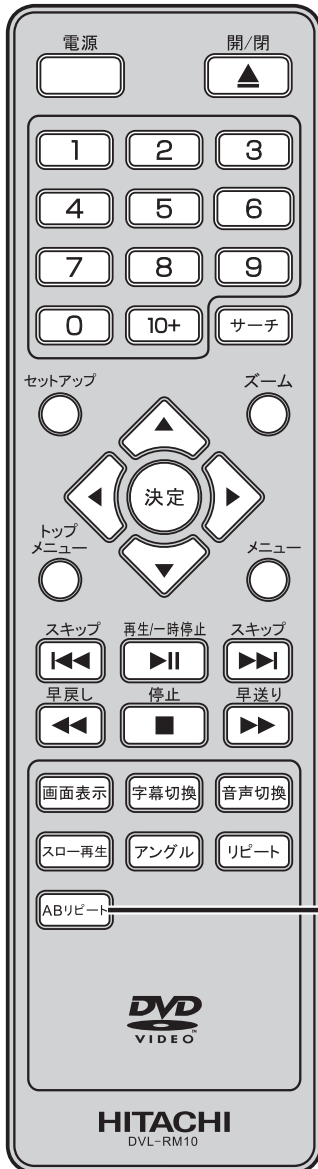
- トラックまたはディスクのトラック全てを、繰り返し再生することができます。
- ［リピート］を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

ちょっと一言！

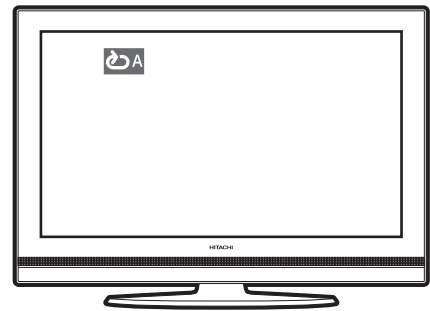
- ディスクによっては、再生の繰り返しができないものがあります。
- リピート設定をしても、タイトル、チャプターの先頭に戻らず、次の場面に移るディスクがあります。
- リピート設定をしたあと、別のタイトル、チャプタートラックに移ってもリピート設定は保持されます。

再生のしかた

繰り返し再生（A-Bリピート再生）

DVD　DVD-R/-RW VRフォーマット　CD

繰り返し再生するように、設定することができます。

1 再生中に、繰り返し再生の開始点にしたい箇所で［ABリピート］を押す

- 開始ポイント（A）が選択されます。

2 リピート再生の終了点にしたい箇所で再度［ABリピート］を押す

- 終了ポイント（B）が選択されます。
- 選択された区間が繰り返し再生されます。

3 A-Bリピート再生を終わらせるには、［ABリピート］を押してリピート再生を[オフ]に切り換える

- 表示が消えます。

再生

ちょっと一言！

- DVDの場面によっては、A-Bリピート機能を利用できない場合もあります。

希望するところから再生する（サーチ）

ディスクメニューを使う

DVD

ディスクの内容を表示し、ディスクメニューから再生することができます。

（例）

Main Menu
1. ハイライト
2. 本編スタート
3. メーキング
4. 字幕
5. 音声

HITACHI

● 表示される内容はDVDによって異なります。
ここでは一般的な操作の例を示しています。

1 メニュー ◯ を押す

● ディスクメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

● カーソルボタン ◁/△/▷/▽ を押して選びます。
次に（決定）を押します。

● ディスクによっては、数字ボタンや[再生]ボタンが有効な場合があります。

● 選択したタイトルから再生が始まります。

ちょっと一言！

● ディスクの取扱説明書をお読みください。

希望するところから再生する（サーチ）

タイトルメニューを使う

DVD

タイトルメニューが入っているDVDの場合は、このメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。

1 トップメニュー を押す

● タイトルメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

● カーソルボタン ◁/△/▷/▽ を押して選びます。
次に 決定 を押します。

● ディスクによっては、数字ボタンや[再生]ボタンが有効な場合があります。
● 選択したタイトルから再生が始まります。

再生中にメニュー画面を呼び出す

● メニュー を押してDVDメニューを呼び出します。
● トップメニュー を押してタイトルメニューを呼び出します。（ディスクによっては メニュー を押したときと同じ画面が表示されます。）

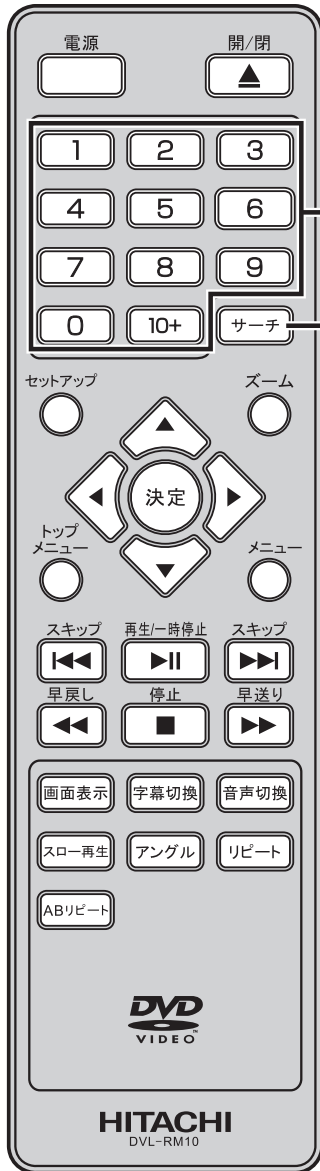
サーチ

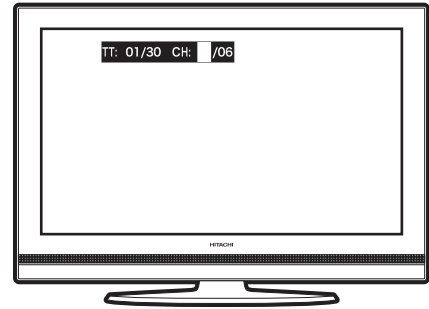
ちょっと一言！

● タイトルメニューの内容は、ディスクによって異なります。
● 詳細はディスク付属の説明書を参照してください。

希望するところから再生する（サーチ）

希望するチャプターまたはタイトルからの再生

DVD　DVD-R/-RW VRフォーマット

1 再生中にを押す

- 「チャプターサーチ画面」が表示されます。
- タイトルサーチの場合には ◀ を押して、カーソルをタイトルに合わせる。

2 数字ボタンを押して希望するチャプター番号またはタイトル番号を入力する

例）チャプター1: 1

例）チャプター12: 10+ → 2

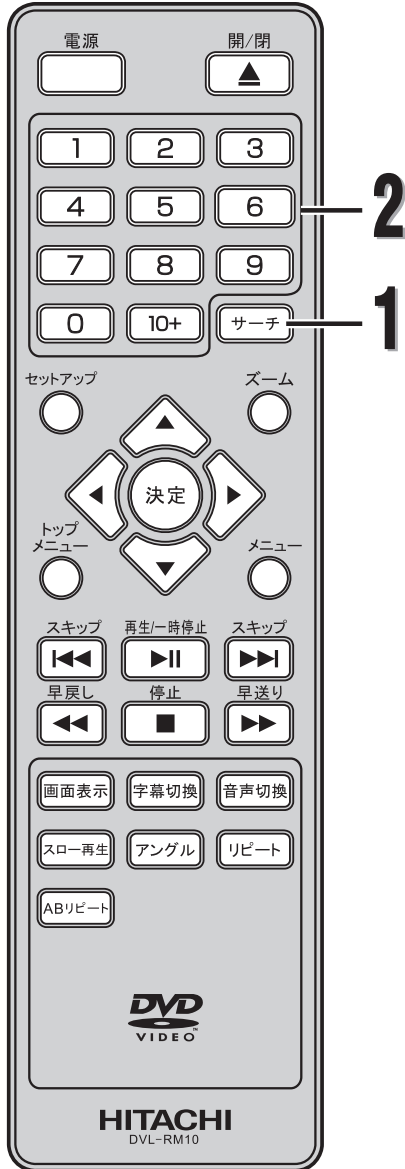
サーチ

ちょっと一言!

- DVDによっては、希望するタイトルまたはチャプターからの再生ができないことがあります。

希望するところから再生する（サーチ）

希望するタイムカウントからの再生

DVD　DVD-R/-RW VRフォーマット　CD

1 再生中に［サーチ］を「タイムカウント画面」が表示されるまで繰り返し押す

● 音楽用CDの場合は、1回又は2回押します。

DVDの場合		音楽用CDの場合	
TT: 01/30 CH: /06	［サーチ］×1回	ディスク時間：---	［サーチ］×1回
TT: 01/30 Time : :	［サーチ］×2回	トラック時間：---	［サーチ］×2回
CH: 01/30 Time : :	［サーチ］×3回	トラック選択：-- /20	［サーチ］×3回

（［サーチ］を2回押してトータル時間又は3回押してチャプター時間にする）

（［サーチ］を1回押してディスク時間又は2回押してトラック時間にする）

TT: 01/30 Time : :

ディスク時間：---

2 数字ボタンを押すと希望するタイムカウント（時間）から再生が始まる

● 例：1時間23分30秒

［1］→［2］→［3］→［3］→［0］

● 入力が確定すると、自動的にサーチし再生します。

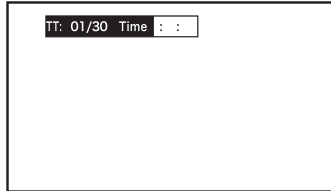
- ディスクによっては、タイムカウント（時間）からの再生ができないものがあります。
- ディスクのトータルを超えた数値を入れたとき、タイムサーチは働きません。

サーチ

希望するところから再生する（サーチ）

希望するトラックからの再生　CD

1 再生中に［サーチ］を押す

- 「トラックサーチ画面」が表示されます。

音楽用CDの場合

ディスク時間：- - -　［サーチ］×1回

トラック時間：- - -　［サーチ］×2回

トラック選択：- - /20　［サーチ］×3回

（［サーチ］を3回押してトラック選択にする）

トラック選択：- - /20

2 数字ボタンを押すと希望するトラック番号から再生が始まる

例）トラック1：［1］

例）トラック12：［10+］→［2］

再生中に切り換える

音声（言語）をかえる

DVD　DVD-R/-RW VRフォーマット　CD

希望する音声（言語）および音声モードを選択することができます。

1 再生中に 音声切換 を押す

2 音声切換 を繰り返し押して、希望する音声（言語）を選択する

- DVDディスクに複数の音声（言語）が含まれている場合に切り換えることができます。
- 音楽用CDはステレオ/左-モノラル/右-モノラル/モノラルチャンネル（左+右）に切り換えることができます。

音楽用CDの場合

音声モードが切り換わります。

DVDの場合

音声言語が切り換わります。

ちょっと一言！

- ディスクによっては、複数の言語が入っていても 音声切換 が作動しないことがあります。このような場合は、ディスクのメニュー画面で音声言語を切り換えてください。
- 音声切換 を数回押しても希望する言語が表示されないとき、言語がディスクに含まれていません。
- 電源を切ると、「言語設定」で選択されている音声言語に戻ります。選択された言語がディスクに含まれていないときは、ディスクに入っている言語が選ばれます。
- DVD-R/-RW（VRフォーマット）で二重音声が記録されているディスクの音声切り換えは初期設定（セットアップ）ページで設定変更してください。[➡ 46ページ]

再生中に切り換える

字幕（言語）をかえる

DVD

希望する字幕（言語）を選択することができます。

1 再生中に［字幕切換］を押す

2 さらに［字幕切換］を押して希望する言語の字幕を選択する

- 再生中のDVDに複数の字幕言語が含まれている場合に切り換えることができます。

（例）

- ［字幕切換］を押すごとに字幕（言語）が、字幕1、字幕2---と切り換わります。

再生中の切り換え

ちょっと一言！

- DVDディスクメニューで字幕（言語）の設定をするDVDがあります。（DVDにより操作が異なります。操作方法については、DVDに付属の説明書にしたがってください。）
- 電源を切ると、「言語設定」で選択されている字幕言語に戻ります。選択された言語がディスクに含まれていないときは、ディスクに入っている言語が選ばれます。
- 変更した字幕（言語）が表示されるまで多少時間がかかる場合があります。
- “⊘”が画面上に表示されたときは、字幕はそのシーンに入っていません。
- ディスクによっては複数の字幕が入っていても［字幕切換］が作動しないことがあります。このような場合は、ディスクのメニュー画面で音声を切り換えてください。

再生中に切り換える

アングル（カメラアングル）をかえる

DVD

希望するカメラアングルを選択することができます。

1 再生中に アングル を押す

- 各種カメラアングルの画像が記録されたDVDでは、画面右上にアングルマーク（ ）が表示されます。画面上にこのマークが表示されているときに、カメラアングルを変更できます。
- 画面に「⊘」があらわれた場合、カメラアングルを変更することができません。

2 アングル番号が画面上に表示されている間に アングル を押す

- アングル を押すごとに再生画面が切り換わります。

切り換える 再生中の

ちょっと一言！

- アングルマークの設定をオフにしている場合は、アングルマーク（ ）は表示されません。
  アングルマークの設定をオンにしている場合、各種カメラアングルの画像が記録されたシーンではアングルマーク（ ）が常時表示されます。［ ➡ 39ページ］
- ディスクによっては、アングルマークが表示されていてもアングルの切り換えができない場合があります。

再生中に切り換える

ズーム再生（画面上で拡大、縮小）

DVD　DVD-R/-RW VRフォーマット

お好みにより画面上で2倍、3倍、4倍の大きさに拡大、1/2、1/3、1/4、の大きさに縮小できます。

1 再生中に ズーム を押す

- 画面中央で画像が拡大及び縮小されます。
- ズーム を繰り返し押すと、6段階の切り換えができます。（2×、3×、4×、1/2、1/3、1/4）

2 拡大中に ◁/△/▷/▽ を押すと、ズームする部分が移動する

- ズームフレームを中心から上下左右に移動させることができます。

- 4:3レターボックス表示にしている場合は、表示される画像が倍率よりも多少大きくなります。

再生中の情報を見る（画面表示）

画面表示の切り換え

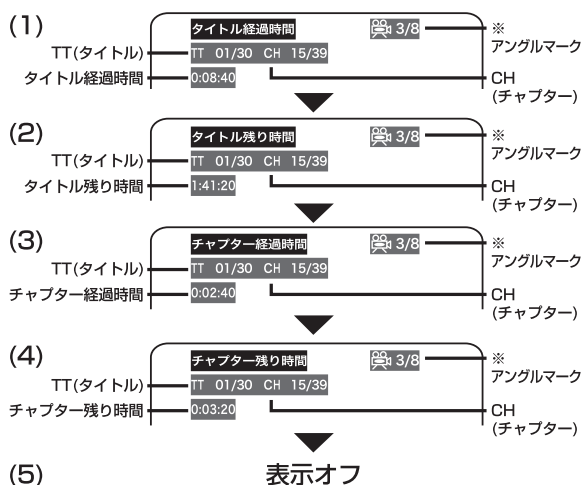
DVD CD

リモコンの[画面表示]ボタンを押して再生中の情報を確認することができます。

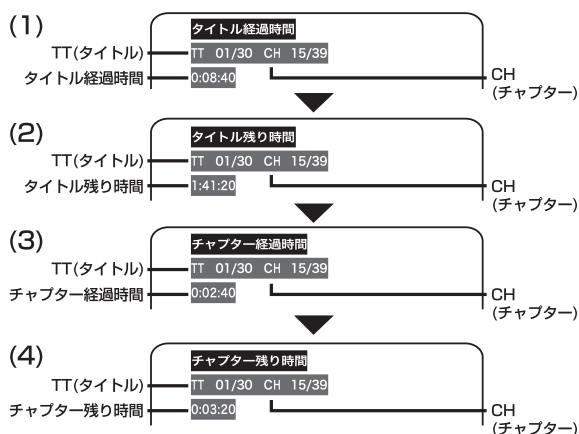
1 再生中に 画面表示 を押す

- 画面上に情報が表示されます。
- 画面表示 を繰り返し押すと、次の情報が表示されます。

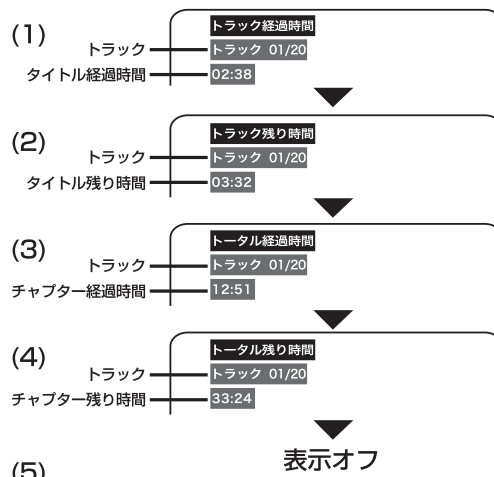
DVDの場合

(5) 表示オフ

	項目	表示内容
(1) (2) (3) (4)	CH	現チャプター番号/総チャプター数
	TT	現タイトル番号/総タイトル数

※カメラアングルが切り換え可能な場合のみ表示されます。

DVD-R/DVD-RW（VRモード）の場合

	項目	表示内容
(1) (2) (3) (4)	CH	現チャプター番号/総チャプター数
	TT	現タイトル番号/総タイトル数

音楽用CDの場合

(5) 表示オフ

	項目	表示内容
(1) (2) (3) (4)	トラック	現トラック番号/総トラック数

画面表示

初期設定をかえる（セットアップ）

設定一覧（出荷設定）

便利にお使いいただくためにご自分で変更できる設定と、工場出荷時の設定を一覧表にしています。

- ワイドテレビとの接続や、オーディオ機器とのデジタル接続時に設定を変える必要があります。詳しくは各ページをご参照ください。
- 初期設定の変更は再生中には行えません。停止状態で行ってください。

メニュー項目	設定項目（“白抜き”は工場出荷設定）		設定内容
1. 映像設定 ➡42～43ページ	テレビ出力	4:3 レターボックス 4:3 パンスキャン 16:9 ワイド	出力するテレビのサイズに合わせて設定します
	映像出力	S映像 コンポーネント	出力するテレビの入力端子に合わせて設定します
	HDMI解像度※	自動 480i 480p 720p 1080i 1080p	HDMI出力の解像度を設定します
	コンポーネント解像度※	480i 480p	コンポーネント出力の解像度を設定します
2. 音声設定 ➡44～45ページ	デジタル音声出力	ビットストリーム PCM	デジタル音声出力端子から出る音声信号を設定します
	HDMI音声出力	自動 PCM	HDMI出力端子から出る音声信号を設定します
	ダウンミックス	ステレオ サラウンド	音声出力端子から出る音声信号を設定します
	二重音声	ステレオ 左 右 左＋右	二重音声が記録されたディスクの音声を設定します
	DRC	オン オフ	音声の強弱を設定します
3. 言語設定 ➡46～47ページ	画面表示言語	日本語 英語（English）	メニューなどで画面に表示される言語を設定します
	音声言語	日本語 英語 フランス語 スペイン語 中国語 韓国語 その他	テレビから聞こえる音声の言語を設定します
	字幕言語	日本語 英語 フランス語 スペイン語 中国語 韓国語 その他 オフ	テレビに表示される字幕の言語を設定します
	メニュー言語	日本語 英語 フランス語 スペイン語 中国語 韓国語 その他	DVDのタイトルメニューなどで画面に表示される言語を設定します

初期設定をかえる（セットアップ）

メニュー項目	設定項目（“白抜き”は工場出荷設定）		設定内容
4. その他 ➡48～51ページ	スクリーンセーバー	オン オフ	スクリーンセーバーの動作を設定します
	ロゴ	オン オフ	ロゴ画面の表示を設定します
	ラストメモリー	オン オフ	ラストメモリーの動作を設定します
	アングルマーク	オン オフ	アングルマークの画面表示を設定します
	視聴制限	レベル1 レベル2 レベル3 レベル4 レベル5 レベル6 レベル7 レベル8	DVDの視聴制限のレベルを設定します
	パスワード変更	変更	パスワードを変更します
	設定リセット	実行	工場出荷設定に戻します

- 設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。
- 停止状態でないと、セットアップ機能は利用できません。
- メニュー画面つきDVDを再生したときは、ディスクメニューでの設定が優先されることがあります。

HDMI解像度とコンポーネント解像度、映像出力について

- 映像出力をコンポーネントに設定すると、HDMI解像度とコンポーネント解像度は480iとなりますので設定後に、お好みの解像度を選択してください。
- HDMI解像度とコンポーネント解像度は連動して切り換わります。
- コンポーネント解像度は、480p以下に制限されます。
- HDMI解像度およびコンポーネント解像度を変更した場合、映像や音声が出ない場合がありますので解像度を変更する場合には、ご使用のテレビの取扱説明書をよくお読みいただき、テレビ側が対応している解像度に変更してください。尚、解像度を変更して映像や音声が出なくなった時は、「テレビと接続」[➡19ページ]の方法1の接続に変更してください。
- 解像度については下表をご覧ください。

HDMI解像度	出力	
	HDMI	コンポーネント解像度
自動	TVの設定による	480p
1080p	1080p	480p
1080i	1080i	480p
720p	720p	480p
480p	480p	480p
480i	480i	480i

初期設定をかえる(セットアップ)

映像設定

1 セットアップ を押す

- 「セットアップ画面」が表示されます。

2 ◁/▷を押して"映像設定"を選択し、決定を押す

3 △/▽を押して選択したい項目を選び、決定を押す

4 △/▽を押して選択したい項目を選び、決定を押す

- 茶色は現在の設定内容、緑色は選択している項目です。
- ◁を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

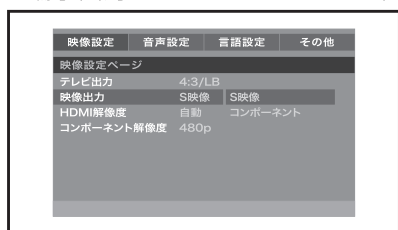
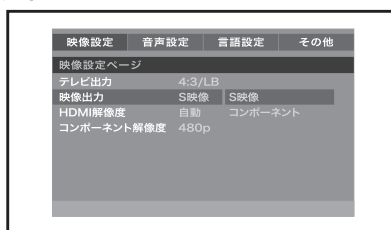
テレビ出力(初期設定：4:3 レターボックス)
4:3 レターボックス：上下に黒い帯付きの画面
4:3 パンスキャン：左右をカットした画面
16:9 ワイド：ワイド画面テレビに接続されている場合、自動的に横長の画面になります。

決定 を押す

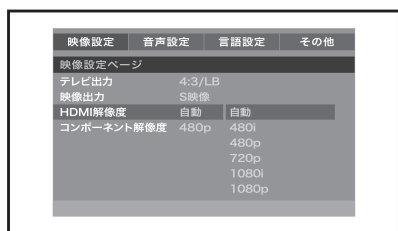
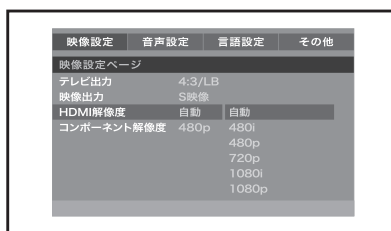
△/▽を押して選択したい項目を選び、

決定 を押す

初期設定をかえる（セットアップ）

映像出力（初期設定：S映像）
S端子出力もしくはコンポーネント出力のいずれかを選択します。

▲/▼を押して選択したい項目を選び、

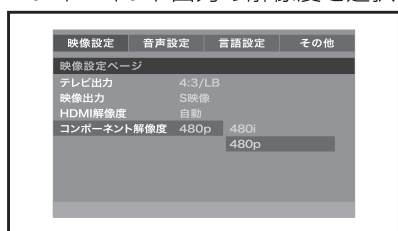
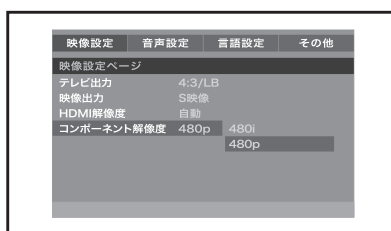
を押す

HDMI解像度（初期設定：自動）
HDMI映像出力の解像度を選択します。

▲/▼を押して選択したい項目を選び、

を押す

コンポーネント解像度（初期設定：480p）
コンポーネント出力の解像度を選択します。

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定を押す

5

セットアップ ◯ **を押す**

- 設定を完了し、セットアップ画面が消えます。

初期設定を変える

ちょっと一言！
- HDMI解像度およびコンポーネント解像度を変更した場合、映像や音声が出ない場合がありますので解像度を変更する場合には、ご使用のテレビの取扱説明書をよくお読みいただき、テレビ側が対応している解像度に変更してください。尚、解像度を変更して映像や音声が出なくなった時は、「テレビと接続」[➡ 19ページ]の方法1の接続に変更してください。

初期設定をかえる（セットアップ）

音声設定

1

セットアップ ◯ を押す

●「セットアップ画面」が表示されます。

2

◁/▷を押して"音声設定"を選択し、決定を押す

3

△/▽を押して選択したい項目を選び、決定を押す

4

△/▽を押して選択したい項目を選び、決定を押す

● 茶色は現在の設定内容、緑色は選択している項目です。

● ◁を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

デジタル音声出力（初期設定：ビットストリーム）
デジタル音声出力端子から出る音声信号を設定します。

△/▽を押して選択したい項目を選び、

を押す

初期設定を変える

初期設定をかえる（セットアップ）

HDMI音声出力（初期設定：自動）
HDMI出力端子から出る音声信号を設定します。

押して選択したい

項目を選び、

ダウンミックス（初期設定：ステレオ）
音声出力端子から出る音声信号を設定します。

押して選択したい

項目を選び、

を押す

二重音声（初期設定：左）
二重音声が記録されたディスクの音声を設定します。

押して選択したい

項目を選び、

を押す

DRC（初期設定：オン）
DRCのオン、オフを設定します。

押して選択したい

項目を選び、

を押す

5

セットアップ ◯ **を押す**

- 設定を完了し、セットアップ画面が消えます。

初期設定をかえる（セットアップ）

言語設定

1

セットアップ ◯ を押す

●「セットアップ画面」が表示されます。

2

◁/▷を押して"言語設定"を選択し、(決定)を押す

3

△/▽を押して選択したい項目を選び、(決定)を押す

4

△/▽を押して選択したい項目を選び、(決定)を押す

● 茶色は現在の設定内容、緑色は選択している項目です。

● ◁を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

画面表示言語（初期設定：日本語）
メニューなどで画面に表示される言語を設定します。

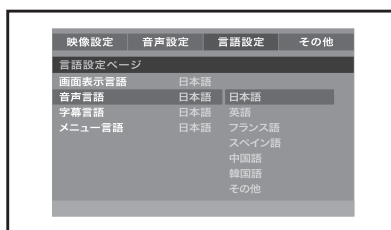
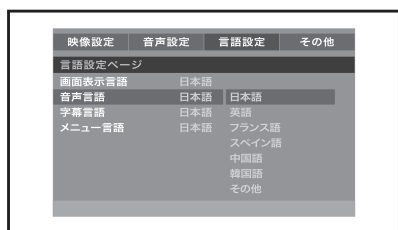
(決定) を押す

△/▽を押して選択したい項目を選び、

(決定) を押す

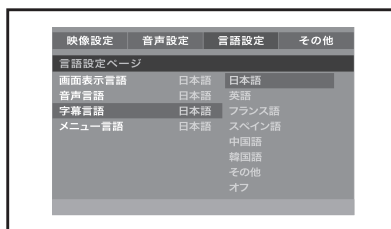
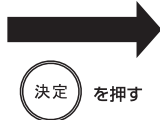
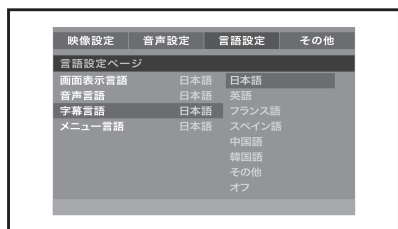
初期設定をかえる（セットアップ）

音声言語（初期設定：日本語）
テレビから聞こえる音声の言語を設定します。

▲/▼を

押して選択したい

項目を選び、

字幕言語（初期設定：日本語）
テレビに表示される字幕の言語を設定します。

▲/▼を

押して選択したい

項目を選び、

を押す

メニュー言語（初期設定：日本語）
DVDのタイトルメニューなどで画面に表示される言語を設定します。

▲/▼を

押して選択したい

項目を選び、

決定 を押す

5

セットアップ
◯ **を押す**

- 設定を完了し、セットアップ画面が消えます。

初期設定をかえる（セットアップ）

その他

1 セットアップ を押す

- 「セットアップ画面」が表示されます。

2 ◁/▷を押して"その他"を選択し、決定を押す

3 △/▽を押して選択したい項目を選び、決定を押す

4 △/▽を押して選択したい項目を選び、決定を押す

- 茶色は現在の設定内容、緑色は選択している項目です。
- ◁を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

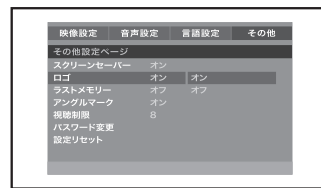
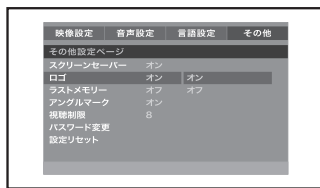
スクリーンセーバー（初期設定：オン）※停止および一時停止状態から約5分操作が無い時にはたらきます。
スクリーンセーバーの動作を設定します。

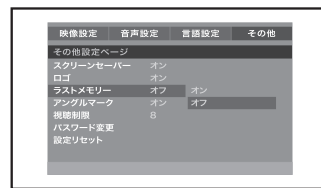
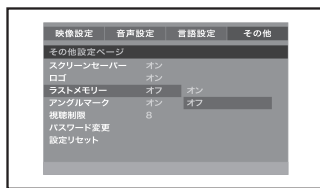
押して選択したい

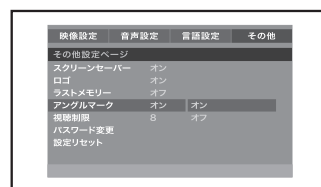
項目を選び、

を押す

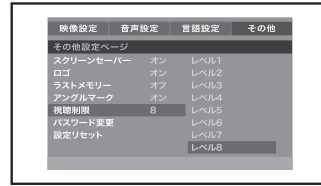
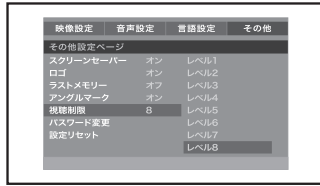
初期設定をかえる（セットアップ）

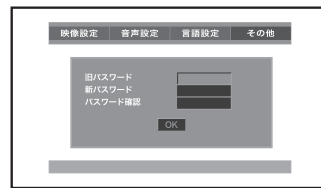
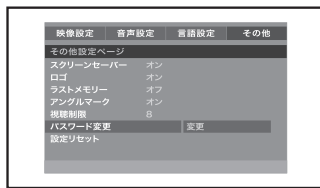
ロゴ（初期設定：オン）
ロゴ画面の表示を設定します。

△/▽ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

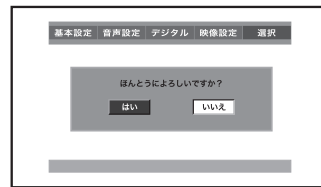
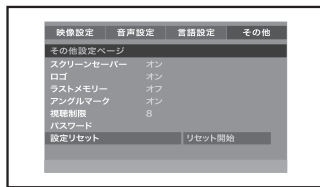
ラストメモリー（初期設定：オフ）※機能内容［➡55ページ］
ラストメモリーの動作を設定します。

△/▽ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

アングルマーク（初期設定：オン）
アングルマークの画面表示を設定します。

△/▽ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

視聴制限（初期設定：レベル8）
DVDの視聴制限のレベルを設定します。

レベル8 どのグレードのDVDディスク（成人、一般、子供）でも再生出来ます。
レベル7から2 一般用と子供向けのDVDディスクのみ再生できます。
レベル1 子供用のDVDディスクのみ再生出来ます。成人向け、一般用のDVDディスクは利用出来ません。

△/▽ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

パスワード変更（初期値：123456）
パスワードを変更します。

△/▽ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

設定リセット
設定をリセットします。「ほんとうによろしいですか?」に「はい」と選択するとリセットされます。

△/▽ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

5 セットアップ ◯ を押す

● 設定を完了し、セットアップ画面が消えます。

初期設定をかえる（セットアップ）

パスワード変更

1

セットアップ ◯ を押す

● 「セットアップ画面」が表示されます。

2

◁/▷を押して"その他"を選択し、

決定を押す

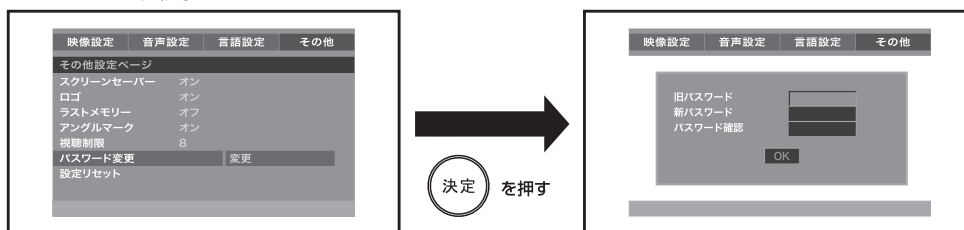
3

△/▽を押して"パスワード変更"を選択し、決定を2度押す

● 「パスワード設定ページ画面」が表示されます。

● ◁を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

初期設定をかえる（セットアップ）

パスワード変更（初期値:123456）
パスワードを変更します。

パスワードを入力して、視聴制限のレベルを変更できます。

- 旧パスワード
  パスワードを変更していない場合は、初期値の123456を入力してください。
  パスワードを変更済みの場合は、変更したパスワードを入力してください。
- 新パスワード
  任意の6桁の数字を入力してください。
- パスワード確認
  新パスワードで入力した数字と同じ数字を入力して下さい。

4 セットアップ ◯ を押す

- 設定を完了し、セットアップ画面が消えます。

ちょっと一言！

- 設定した方法で、視聴制限機能が作動するか確認してください。
- パスワードを忘れないように、書きとめておいてください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、初期値の123456を入力して下さい。

初期設定をかえる(セットアップ)

言語コード一覧表

言語名	言語コード
アイスランド語	7383
アイルランド語	7165
イタリア語	7384
インドネシア語	7378
英語	6978
オランダ語	7876
韓国語	7579
ギリシャ語	6976
クロアチア語	7282
スウェーデン語	8386
スペイン語	6983
タイ語	8472
チェコ語	6783
中国語	9072

言語名	言語コード
デンマーク語	6865
ドイツ語	6869
トルコ語	8482
日本語	7465
ノルウェー語	7879
ハンガリー語	7285
フィンランド語	7873
フランス語	7082
ヘブライ語	7387
ポーランド語	8076
ポルトガル語	8084
マレー語	7783
ルーマニア語	8279
ロシア語	8285

故障かな?と思ったときは

ここをお調べください

この取扱説明書にそって操作しても正常に動作しないときは、下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは、お買上げの販売店にお問い合わせください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源が入らない 操作ができない	※電源プラグがはずれている ※停電で電源が切れている ※静電気など外部からの影響を受けている ※テレビからの電磁妨害が考えられます。	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込む ●安全保護装置が働いていることがあります。このときは、1度電源プラグをコンセントから抜き、再びコンセントに差し込んで電源を入れてください ●本機をテレビから離して設置してください。	―― ―― ――
リモコンで操作できない	※リモコンが本機の受光部に向いていない ※リモコンと本機が離れすぎている ※リモコンと本機の受光部の間に障害物がある ※リモコンの乾電池が消耗している	●リモコンを本機の受光部に向ける ●7m以内の所で操作する ●障害物を取り除く ●乾電池を交換する	―― 16 ―― 16
画像がでない	※映像接続コードがはずれている ※違う種類のディスクが入っている ※ビデオやビデオ内蔵テレビと接続しているため、コピーガード機能が働いている ※接続したテレビが対応している解像度以上で出力している ※S映像ケーブルで接続している ※コンポーネント映像ケーブルで接続している	●映像接続コードをしっかり接続する ●再生できるディスク以外のものが入っていないか確認する ●本機とテレビを直接接続する ●付属の映像音声コードで接続し、テレビの入力切換を行ってからメニューのHDMI解像度またはコンポーネント解像度設定でテレビが対応している解像度に設定して下さい。 ●メニューの映像出力をS映像に切り替えてください。 ●メニューの映像出力をコンポーネントに切り替えてください。	19 11 19 43 43
再生が始まらない	※結露が発生している ※ディスクが入っていない ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクが汚れている ※視聴制限が有効になっている ※DVD-R/DVD-RW(VRモード)ディスクを再生しようとしている	●電源「切」のまま、しばらく放置する ●ディスクを入れる ●ディスクのラベル面を上にして、正しく入れ直す ●ディスクを清掃する ●視聴制限設定を解除するか、規制レベルを変更する ●本機では、DVD-R/DVD-RW(VRフォーマット)ディスクは、DVDビデオディスクやDVD-R/DVD-RW(ビデオフォーマット)ディスクに比べ、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。	8 22 22 8 48～49 19
音声がでない	※音声接続コードがはずれている ※音声出力の選択が正しくない ※音声接続をしている機器の電源が入っていない ※音声接続をしている機器の入力が正しくない ※DTSサウンドを再生している	●音声接続コードをしっかり接続する ●音声出力の選択を正しく行う ●音声接続をしている機器の電源を入れる ●音声接続をしている機器の入力を正しく行う ●本機はDTSサウンドには対応していません。	19～21 46～47 ―― ―― ――
映像が乱れる	※ビデオやビデオ内蔵テレビと接続しているため、コピーガード機能が働いている ※早送り、早戻しをした直後である ※携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している ※コンポーネントケーブルとS映像コードを両方接続している	●本機とテレビを直接接続する ●画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません ●本機から離して使用する ●コンポーネント映像出力とS映像コードを両方接続していると、正常な映像が出力されません。コンポーネント映像またはS映像でご覧になる場合は、ご覧になるケーブルのみを接続してください。	19 ―― 23 19
セットアップで選んだ音声言語、字幕言語にならない	※DVDディスクにセットアップで選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	35
アングルを変えて見ることができない	※DVDディスクに複数のアングルが記録されていない	●DVDディスクに複数のアングルが記録されているか確認する	37
音声言語、字幕言語の切り換えができない	※DVDディスクに複数の音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	35
テレビ画面に"⃠"が表示され、操作できない	※本機またはディスクがその操作を禁止しています	●故障ではありません	23
再生中に画像が動かなくなる	※ディスクがDVDディスクの仕様を満たしていない ※ディスクが汚れている ※ディスクにキズがある ※2層ディスクが1層から2層に切り換わった ※原因がはっきりしないとき	●故障ではありません ●ディスクを清掃する ●キズのないディスクと取り替えて再生する ●映像が一瞬止まることがありますが、故障ではありません ●[停止]ボタンを押してから[再生]ボタンを押してみる　本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、再度電源プラグを差し込み再生してみる	―― 8 ―― 22 ――
勝手に電源が切れる	※停止状態で30分経過すると、自動的に電源「切」状態になります	●再度、電源を入れ直す	――
ディスクがありません とテレビ画面表示される	※再生できないディスクが入っている ※ディスクが汚れている ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクにキズがある	●再生できるディスクを入れる ●ディスクを清掃する ●ディスクのラベル面を上にして正しく入れ直す ●キズのないディスクと取り替えて再生する	11 8 22 8
リージョンコードが間違っています とテレビ画面表示される	※リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っている	●リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れる	11
視聴制限が設定されています とテレビ画面表示される	※設定が有効になっている	●設定を変更する	48～49

ちょっと一言!

- 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
- ディスクにより音量が異なることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。

その他

用語の解説

用語	説明
DRC	ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と最小の信号レベルを上げ、最大の信号レベルを下げて音声の強弱の幅を調節します。DRCオン／オフを切り換えることにより、破裂音のような強い音が低減される一方、人の会話などはっきり聞こえるようになるため、深夜に映画を見るときなどに効果があります。
HDMI	デジタルで音声と映像信号をケーブル1本でテレビへ伝送する端子です。HDMIケーブルを接続することにより、より綺麗な映像が楽しめます。
コンポーネント映像出力	Y/CB/CRの3つの信号からなり、コンポーネント入力つきのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が楽しめます。
視聴制限（パレンタルレベル）	DVDディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名（タイトル）などをいいます。
ダイナミックレンジ	ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル（dB）単位で測定されます。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターと言います。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
ドルビーデジタル（5.1ch）	ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果のことです。5.1chの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。ドルビーデジタルを楽しむには、本機のデジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続することが必要です。

その他

用語の解説

用語	説明
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラック	音楽用CDの各曲をトラックと言います。
4:3 パンスキャン	4:3のテレビと本機を接続しワイド(16:9)ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4:3のサイズにする機能です。 テレビ画面
4:3 レターボックス	4:3のテレビと本機を接続しワイド(16:9)ディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。 テレビ画面
16:9 ワイド	16:9のテレビで再生すると、上下左右の黒帯がなく、フル画面で再生できます。
光デジタル音声出力	音声は通常、電気信号に変えてDVDからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル音声出力です。
ピックアップレンズ	ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。
プログレッシブ	接続したテレビがプログレッシブ映像に対応しているとき、従来方式のインターレーススキャン方式より、ちらつきの少ない高密度の画像を楽しむことができます。
マルチアングル	同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。
ラストメモリー	DVDの再生を途中で停止してディスクを取り出しても再生の開始ポイントをメモリーする機能です。最大で5枚までメモリーします。
つづき再生 (リジューム機能)	ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機がメモリーし、停止した位置からつづけて再生することができる機能です。
リニアPCM	PCMとは、Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。リニアPCMとは圧縮していないPCM信号です。CDの音声と同じ方式ですが、DVDの場合、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。
リニアPCM音声	音楽用CDなどに用いられている信号記録方式です。
リージョン番号 (再生可能地域番号)	DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。

その他

さくいん

あ行

か行

さ行

た行

その他

さくいん

は行

ら行

英数字

その他

仕　　様

項目		仕様
再生可能ディスク		●DVDビデオディスク ●DVD-R/DVD-RW(ビデオフォーマットファイナライズ済ディスク) ●DVD-R/DVD-RW(VRフォーマットファイナライズ済ディスク)(CPRM対応) ●音楽用CD　●CD-R/CD-RW(CD-DAフォーマットのディスク)
出力信号方式		NTSCカラー方式
周波数特性		DVD(リニア音声) 20Hz～22kHz(48kHzサンプリング周波数) 20Hz～44kHz(96kHzサンプリング周波数) 音楽用CD 20Hz～20kHz(JEITA)
端　子	S映像出力	ミニDIN 4pin(75Ω) (Y)1.0 V(p-p)(75Ω) (C)0.286 V(p-p)(75Ω)
	映像出力	ピンジャックX1 1V(p-p)(75Ω)
	コンポーネント映像出力	Y、C_R/P_R、C_B/P_B出力端子
	光デジタル音声出力	光コネクター
	同軸デジタル音声出力	ピンジャックX1 0.5V(p-p)(75Ω)
	アナログ音声出力	ピンジャックX2(左チャンネルX1、右チャンネルX1) 2V(rms)(100kΩ)
	HDMI出力	1080p、1080i、720p、480p、480i(CEC非対応)
電　源		AC100V/50Hz,60Hz
消費電力		約8W(待機時:約0.8W)
許容温度範囲		+5℃～40℃
許容湿度範囲		80%以下(結露がなきこと)
寸　法		430mm(幅)x44.2mm(高さ)x213.7mm(奥行:突起部含まず)
質　量		約1.8kg

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

ホームページに「よくあるご質問」について掲載しておりますので、ご活用ください。
http://kadenfan.hitachi.co.jp/q_a/index.html

修理などアフターサービスに関する ご相談はエコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

受付時間 9:00〜19:00(365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについての ご相談はお客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

受付時間 9:00〜17:30(月〜土)
9:00〜17:00(日、祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の記載内容にもとづいて修理させていただきます。
保証期間が過ぎているときは	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
保証期間	お買い上げ日から本体1年です。

●「出張修理」および「部品購入」については、上記エコーセンターまたはお客様相談センターにて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
●火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日･販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

保証期間…お買い上げ日から1年です。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、取扱説明書に記載された「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

DVDプレーヤーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは（出張修理）

53ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	DVDプレーヤー
形　名	(DVDプレーヤー) DVL-P1000 (リ モ コ ン) DVL-RM10
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれてます。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日

長年ご使用のDVDプレーヤーの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか。

- 電源スイッチを入れても映像や音がでない。
- 変なにおいがしたり、煙りがでたりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

株式会社　日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL.(03)3260-9611
FAX.(03)3260-9739

Printed in China
BQ.0635-B-D